

美郷町でプログラミング教室 六郷高生が小学生指導



小学生にプログラミングを教える六郷高生

六郷高校（美郷町）の生徒によるプログラミング教室が同校で開かれた。生徒は授業で学んだ知識を生かし、プログラムを組んで機器を動かす方法を小学生に指導した。美郷町と天仙、仙北両市の

小学生とその家族計8人が参加。25個のランプがある小さなコンピュータ「マイクロビット」をタブレット端末に接続して動かした。六郷高1年生20人と3年生5人が講師を務めた。

タブレット端末上で、どのランプを光らせるかを指示するブロックと「最初だけ」「ずっと」などを書かれたブロックを組み合わせてプログラムの作成。「数を表示」「温度のブロックを組み合わせて室温を表示させたり、簡単な音楽が鳴るように設定したりし

て楽しんだ。

後藤凌駕君（仙南小5年）は「温度を測ったり音楽を鳴らしたり、いろいろなことができてすごいと思った。分からない時は高校生がすぐ教えてくれた」と話した。

六郷高生は情報の授業でプログラミングを学んでおり、学校独自の検定を受け合格した生徒が講師を務めた。教室は小学生にプログラミングの楽しさを伝え、生徒の自信も育もうと昨年1月から開講。9、10の両日実施した今回は3回目で、今後も随時開く予定。

六郷高1年の須田百菜さんは「プログラミングの授業は面白い。小学生が、やり方が分かった時に笑顔になってくれたので良かった」と語った。

（佐藤将弥）